

切れ字（や・かな・けり）に○をつけ、作者が心を動かしたことをア・イ・ウからえらびましょう。

① しず 閑かさや いわ 岩にしみ入る い せみ 蝉のこえ 声

まつおばしろう
松尾芭蕉

ア せみの声がうるさくてたまらないこと

イ 岩がとても大きいこと

ウ あたりがしんとしているしずかさ

こたえ

② なつくさ 夏草や つわもの 兵どもが ゆめ 夢のあと 跡

まつおばしろう
松尾芭蕉

ア 武士たちの夢のあとに、夏草がしげっていること

イ 夏草の上で子どもたちが遊んでいること

ウ 戦いに勝ってうれしいこと

こたえ

③ めいげつ 名月をとってくれろと な 泣くこ 子かな

こばやし いっさ
小林一茶

ア 月が雲にかくれてざんねんなこと

イ 月をほしがって泣く子どものかわいらしさ

ウ 子どもがねないでこまっていること

こたえ

④ あか 赤とんぼ つくば 筑波に雲も くも なかりけり

まさおかしき
正岡子規

ア とんぼがいなくなってさびしいこと

イ 山に雲がかかって見えないこと

ウ 雲ひとつない、すみきった秋の空

こたえ

